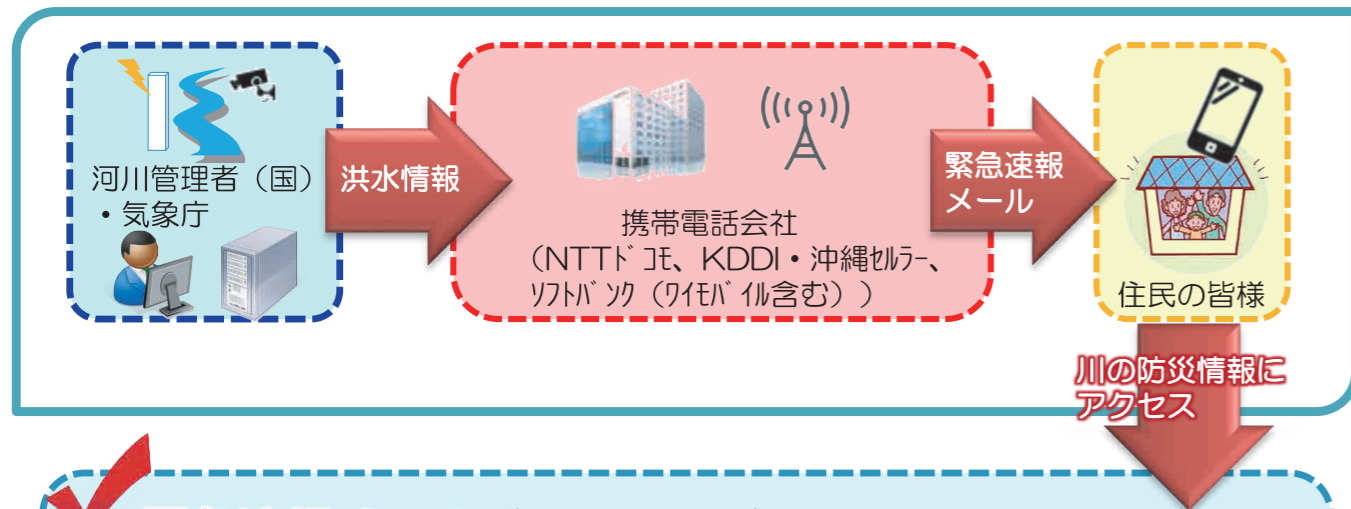


## ②洪水情報が緊急速報メールで配信されます

平成29年5月から、国が管理する鬼怒川・小貝川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されるようになりました。

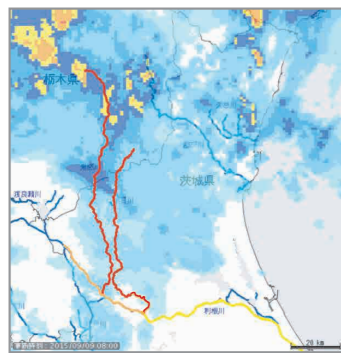


緊急速報メールが来たらまずチェック!

# 国土交通省 川の防災情報

### 雨の状況が分かる!

今、どこでどれくらいの雨が降っているのかわることができます。



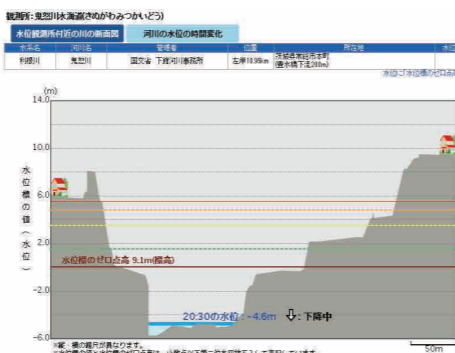
### 川の様子ที่分かる!

CCTVカメラの映像で、現在の川の様子や、川に近づかなくても状況を知ることができます。



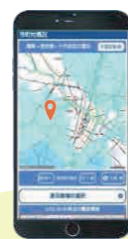
### 川の水位が分かる!

川に設置した水位計で、近くの川の水位がどのような状況になっているのかわ、リアルタイムで確認することができます。



## アクセス!

パソコンから  
<http://www.river.go.jp/>  
スマートフォンから  
<http://www.river.go.jp/s/>



スマホ版「川の防災情報」では、位置情報を取得することで、今いる場所の雨の様子や近くの川の状況をすぐ知ることができます。

【問合せ先】 国土交通省関東地方整備局下館河川事務所 調査課 ☎25-2171 FAX 25-3019

# 特集：逃げ遅れゼロをめざして

- ①水害・土砂災害の防災情報の伝え方がかわります
- ②洪水情報が緊急速報メールで配信されます
- ③マイ・タイムラインで自分の逃げ方がわかります

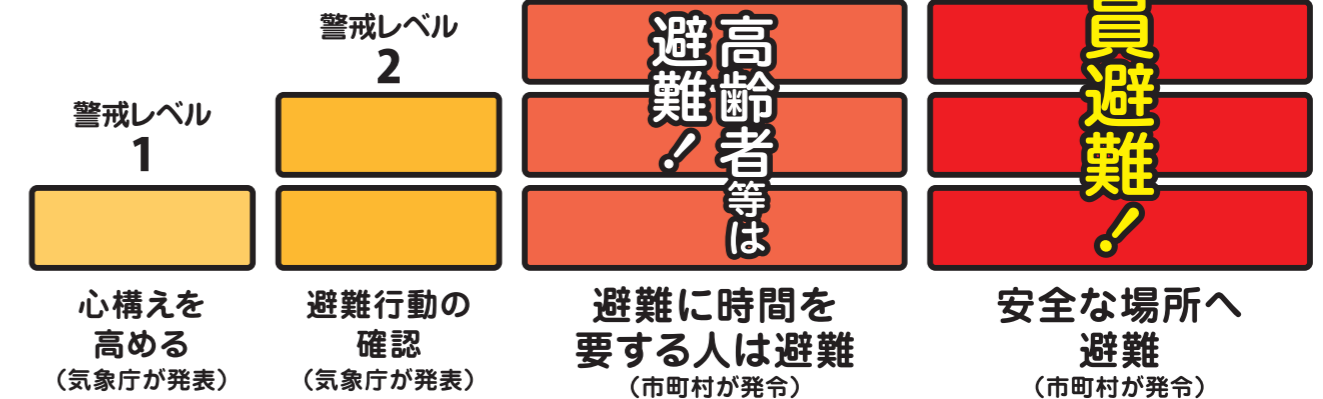
大雨が降ったら...いつ逃げる?どこへ逃げる?何をもって逃げる? もう来ない、とは言い切れない最近の雨の降り方。自分と大切な人の命を守るために、いざという時のためにそなえを見直しましょう。平成27年9月関東・東日本豪雨を風化させずに、逃げ遅れゼロを目指して、みんなで意識を高め、災害に備えましょう。

☎ 消防交通課 ☎43-2119 FAX 43-4214

## ①水害・土砂災害の防災情報の伝え方がかわります

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、[警戒レベル]を用いた避難情報が発令されます。市町村から[警戒レベル3、4]が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!

呼びかけの一例  
警戒レベル4  
避難勧告の伝達文例

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

- 警戒レベルととるべき行動を端的に伝えます
- 避難勧告の発令を伝えます
- 災害が切迫していることを伝えます
- とるべき行動を伝えます